



MESSGAE NOTES

2026 年への希望

ローマ人への手紙 12 章:12 節

ブラウン・ジェームズ

ローマ人への手紙 12 章:12 節 望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。

1. 望みを抱いて喜ぶ

イエス様によって成就された、神様からの私たちに対する全ての約束は、私たちにとって希望の理由です。ご自分のひとり子さえも惜しまずにお与えてくださったのなら、私たちのためにしてくださらないことは何もない、と私たちは知っています。イエス様という贈り物は、私たちへの神様の愛です。人生の状況は上がったり下がったりしますが、イエス様に希望を置くことによって、それらの中にあっても揺るがずに立ち続けることができます。

2. 苦難に耐える

聖書は人生の問題を無視するように教えているのではなく、そのすべてを通して神様の理由と目的を認めることを教えています。神様には、より高い目的があると知ることで、私たちは苦難に耐えることができます。試練の後には、必ず神様の祝福が続きます。どのような試練の中にいても、私たちはあらかじめ神様に感謝をし、その祝福を待ち望むのです。

3. ひたすら祈る

聖書には、祈りと希望の間に強い結びつきが見られます。特に感謝の祈りです。過去に神様がどのように助けてくださったかを思い出して、そして現在のあらゆる思い煩いを神様にゆだねるとき、私たちは未来への希望を得ます。